あなたは何のために仕事をしていますか

一枚のダイノックシートから考えたこと

株式会社TM不動産



廊下で一枚だけ色が違う扉

当社が所有する賃貸物件での原状回復工事

工事の経緯

退去された入居者が損傷したPS（パイプスペース）の扉を修繕するため、
遠方の物件の工事を管理会社を通じて手配しました。

仕上がりを確認

見積書には「ダイノックシート貼り替え・退去者負担」とあり、当社は品番まで指定しませんでした。
完了報告に扉の写真がなく、当社スタッフが現地で確認。
濃い木目調の廊下で扉だけが薄いベージュでした。管理会社に連絡し、貼り替えることになりました。

三人のレンガ職人の話

旅人は三人に「あなたは何をしているのですか？」と尋ねます。

一人目 | 目の前の作業

手や腰が痛む中で、レンガを積んでいると答えます。

二人目 | 家族を養う仕事

レンガを積む仕事の給料で、家族を養えると答えます。

三人目 | その先に生まれる価値

人々が集い、祈りを捧げ、後世に残る大聖堂をつくっていると答えます。

一枚のシートを貼る、その先にあるもの

建物を元の美しい状態に戻すという目的から、工事を考えます。

施工前に確認できたかもしれないこと

現場でどのように材料が決まったかは、分かりません。
「周囲と色が違いますが、これでいいのでしょうか」

入居者とオーナーにとっての仕上がり

扉は使えても、入居者は毎日通る廊下で色の違いが気になるかもしれません。
オーナーにとっては、大切に維持してきた建物の美観や価値にも関わります。

仕事の目的は何だろう

作業が終わったとき、その仕事が目指した目的は達成できたでしょうか。

仕事の先にいる人

職人はシートを貼り、管理会社は工事を手配して完了を報告します。
その先には、入居者の暮らしと、建物を大切に維持してきたオーナーの思いがあります。

あなたは何のために仕事をしていますか。

そして、その仕事の先に、何が見えていますか。

元記事とお問い合わせ

株式会社TM不動産 オーナー様向けサイト

あなたは何のために仕事をしていますか

— 一枚のダイノックシートから考えたこと —

元記事を読む　コラム一覧　サービス一覧　お問い合わせ